

平成29年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	分子活性化を基軸とする次世代型触媒反応の開発
研究代表者	茶谷 直人
研究期間	平成29年度～平成33年度
科学研究費委員会 審査・評価第一部会 における所見	<p>本研究は、炭素-水素、炭素-酸素及び炭素-炭素結合などの不活性な化学結合を活性化し、主として新たな炭素-炭素結合を形成する画期的な触媒反応を開発することを目標としている。従来、こうした反応は幾つかの反応の組み合わせで進められていたが（多段階反応）、本研究ではそれらを一段階で進める（直截的分子変換）ところに特徴がある。</p> <p>応募者らは、配向基を有する芳香環オルト位の炭素-水素結合活性化を世界に先駆けて成功するとともに、芳香環上のエーテル結合の触媒的活性化などにも顕著な研究成果を上げており、本研究の目標を達成することが大いに期待できる。</p> <p>以上の理由により、特別推進研究として推進することが適当と考えられた。</p>